

絆を深め、様々な課題を解決して、誰もが生き生きと暮らす芳田の里

芳田自治協議会だより

2026年2月
NO. 48

編集・発行：芳田自治協議会 芳田の里ふれあい館内
☎ 27-0066 e-mail:houtajichikyou@outlook.jp

コミセン 2028年度の完成をめざす

新たなコミュニティセンターの完成までには、建設用地の取得、基本設計、実施設計、造成工事、建設、備品購入等の工程があります。行政はこれらの工程を実施していくに当たって予算措置をする必要があります。

コミセン建設委員会はコミセンの建設候補地や機能等について検討してきましたが、それと並行して何回も行政と建設に向けて話し合いをしてきました。コミセン建設委員会がめざすコミセンの完成時期は2028年度です。そこから逆算して、来年度には建設に向けて予算措置するよう行政に要求してきました。11月6日(木)の行政との話し合いで、行政側から地区で検討すべき事項について合意形成が図れたことが確認できれば、予算措置するとの回答を得ました。建設に向けて大きな前進です。

指定避難所として指定されることは断念

すでにお知らせしていましたが、コミセンの建設候補地についてコミセン建設委員会の出した結論は芳田こども園周辺です。芳田こども園周辺は芳田地区の拠点として最もふさわしい場所だと考えたからです。しかし、それは指定避難所として指定されることを断念することを意味します。芳田こども園周辺は浸水想定区域であるため指定避難所としての指定を受けることができないのです。

「指定避難所にもなる新たなコミュニティセンター建設」が私たちの要望でしたが、芳田地区のまちづくりの拠点か指定避難所か二者択一を迫られる中、コミセン建設委員会はコミセンが指定避難所として指定されることを断念し、芳田地区の拠点であることを優先して建設候補地は芳田こども園周辺としました。この結論に至った理由は裏面の「コミセン建設委員会報告」に書いていますので、読んでください。



コミセン建設委員会報告

新たなコミュニティセンターについて、コミセン建設委員会で今年度さらに内容を具体化して下記の通り建設の方向性を決めました。あくまでも案です。コミセン建設委員会にどんどんご意見をお寄せください。今後、コミセン建設委員会では芳田地区のみなさんに対してコミセン建設に向けての説明会を開催し、芳田地区全体で合意形成を図っていく予定です。

芳田地区の拠点として 芳田こども園周辺に 2028年度完成をめざす

【これまでの経過】

2020年2月 コミセン建設要望書を市長に提出(第一次)

1. 芳田地区内に指定避難所にもなる新たなコミュニティセンターを建設してください。
2. 新たなコミュニティセンターの設計は地元と協議して進めてください。

2020年4月 要望に対する市長の回答

「芳田地区のまちづくり活動に必要な新たな施設については、既存施設の活用も含め検討してまいります。」

2023年8月 コミセン建設要望書を市長に提出(第二次)

「指定避難所にもなる新たな芳田地区コミュニティセンターの建設に向けて、早々に準備に取りかかり、建設に向けての具体的な行程表を示してください。」

2024年2月 要望に対する市長の回答

地元の意見を可能な限り反映し、「新施設の建設に向け検討を進めてまいります。」

2024年 コミセン建設検討委員会始動

建設候補地、規模、機能、設備、付帯施設等について検討

2025年 コミセン建設委員会に名称変更 再始動

芳田地区まちづくり計画作成委員会、芳田地区防災計画作成会議と連携

【コミセンの役割】

芳田地区の拠点

まちづくりの拠点

防災の拠点

災害後の復旧・復興拠点

そこに行けば 誰かいる そんな場に

子どもが集える場

高齢者が利用しやすい場

多世代が交流できる場

【建設候補地】

指定避難所とは

「災害発生の危険性があり、避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害によって家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とした施設で、西脇市が指定する」
(西脇市HPより)

指定避難所を作ることは芳田地区の長年の悲願

芳田こども園周辺にコミセンを建設すれば、そこは浸水想定区域であるため、指定避難所にすることができない。

避難所の2つの役割

災害が起こる前に避難する場所(緊急避難場所)

災害で自宅に住めなくなったために避難生活をする場所

芳田地区のまちづくりの拠点優先か 指定避難所優先か

芳田地区では浸水想定区域等の危険のない場所は限られており、そのような所は芳田地区の拠点にはならない

芳田こども園周辺に建設すれば、指定避難所にはならないが、災害後の復旧・復興拠点としての役割は果たすことができる

芳田地区のまちづくりの拠点であることを優先

指定避難所として指定されることは断念

芳田地区防災計画作成において代替方法を検討

指定避難所ではないが、災害後、復旧・復興のための芳田地区の本部およびボランティア活動の拠点を設置し、復旧・復興に当たる

建設候補地 芳田こども園周辺

直売所とその北側 芳田こども園東隣りの三角地 芳田こども園西の増岡瓦産業

周辺からのアクセスがよく、みんなが集まりやすいので、芳田地区の拠点にふさわしい
他地域の人にも県道沿いのわかりやすい場所なので、災害発生後の支援を受けやすく、復旧・復興拠点にふさわしい。

【設備・付帯施設・機能等】

委員の意見・アイデア

交流スペース 学習スペース キッズスペース 商業スペース

カフェ 運営者を公募

使いやすいトイレ 授乳室 プレイルーム

和室

小学校廃校後の学童保育機能

スクールバスの乗降場

屋外交流広場(芝生広場)

消防団の詰所・防災倉庫

土日開館

芳田自治協議会事務局

【コミセン建設スケジュール】

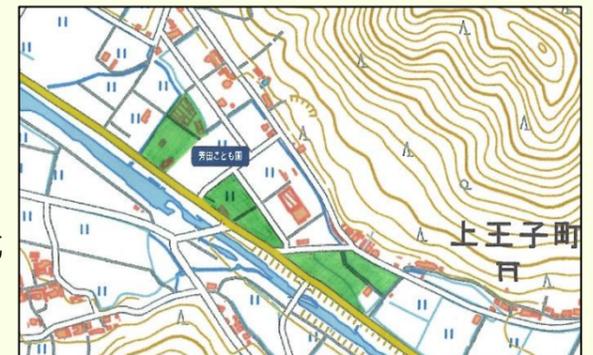
委員会が考える建設スケジュール

2025年度 用地選定 住民周知・合意形成

2026年度 基本設計 用地取得

2027年度 実施設計 造成工事

2028年度 建設工事 備品購入



芳田地区小学校統合意見交換会開催

1月17日(土)、芳田こども園保護者代表、芳田小学校PTA会長、代表区長の呼びかけにより芳田地区小学校統合意見交換会が開催され、新たな小学校は新設統合と校区再編(吸収統合)のどちらがいいのか等について話し合いが行われました。話し合いの中では新設統合がよいという意見が多かったです。

下記の表は教育委員会が作成した『開校準備委員会だより』の一部を抜粋したものです。「統合方法による違い」を見て、みなさんはどう思われますか。

視点(例)	新設統合	校区再編(吸収統合)
校名・校歌等	原則変更(制度的には、校名を変えない選択も可能)	変わらない
校史・沿革等	両校とも一旦閉校となる。	重春小の校史が継続される(芳田小の校史等の継承方法について検討が必要)。
子どもや保護者への影響等	校名等の変更で、両校の児童や保護者にも一定の影響や負担がある一方、両校の児童が共に新しい学校生活をスタートできる。	重春小の校名等は変更がないので、芳田小の児童や保護者への影響が相対的に大きくなる。
その他	検討項目が数多くあり、検討や手続きに一定の負担(時間・費用等)が生じる。	検討や手続きにかかる負担(時間・費用等)が新設統合に比べて、少ない。



芳田地区2月の予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	日		16	月	
2	月		17	火	
3	火		18	水	
4	水		19	木	
5	木		20	金	区長会 19:00~
6	金		21	土	芳田クリーン作戦 9:00~
7	土	あいさつ運動(2/21まで)	22	日	
8	日		23	月	
9	月		24	火	
10	火		25	水	
11	水		26	木	
12	木		27	金	自治協役員会 19:00~
13	金	防災計画作成委員会 19:00~	28	土	スマホ教室 10:00~ まちづくり勉強会 13:30~
14	土				
15	日	防犯のぼり旗・横断幕設置(3/1まで) 交流農園ワークショップ 13:00~			

